

	目的・目標	内 容	単 位 (時間)	方 法	進 度
公衆衛生看護学実習Ⅲ	<p>&lt;目的&gt; あらゆる健康レベルの個人・家族・集団・組織・地域を対象に、健康課題をとらえて活動する展開過程と、対象自らが健康を保持増進し、自立した社会生活ができるための支援方法を理解する。</p> <p>&lt;目標&gt; 保健所・保健福祉事務所実習</p> <p>I. 広域的・専門的・技術的な機関としての役割機能を説明できる。</p> <p>II. 広域的に捉えた地域特性が述べられる。</p> <p>福祉関連機関実習</p> <p>I. 福祉関連機関の住民を支える社会資源としての役割・機能がわかる。</p> <p>II. 支援の必要な対象を支えるネットワークについて述べられる。</p> <p>市町村実習</p> <p>I. 地域の特性を把握し、健康問題を捉えて活動する展開過程がわかる。</p> <p>II. 市町村で行われている公衆衛生看護活動を理解する。</p>	<p>1. 保健所・保健福祉事務所実習</p> <p>1) 保健所の各部署から一斉講義を受ける。</p> <p>2) 担当保健師から実際の活動について説明を受ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県、管内の地域特性</li> <li>・ 専門的・技術的な保健サービス</li> <li>・ 企画、調整に関する活動</li> <li>・ 市町村との協働・支援</li> <li>・ 健康危機管理に関する活動</li> </ul> <p>2. 市町村実習</p> <p>1) 地域のアセスメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報収集、地区視診</li> <li>・ インタビュー、実態調査</li> <li>・ 対象集団の健康課題抽出と、事業計画立案</li> </ul> <p>2) 市町村の保健活動への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健康診査、健康相談、</li> <li>・ 保健指導、健康教育等</li> </ul> <p>3) 家庭訪問の同行</p> <p>4) 健康教育の実践</p> <p>3. 福祉関連施設実習</p> <p>1) 福島県内の福祉関連機関にて見学・体験実習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 母子福祉</li> <li>・ 高齢者福祉</li> <li>・ 障害者福祉</li> <li>・ 難病支援 等</li> </ul>	3   13	<p>【臨地】</p> <p>《保健所 ・ 保健福祉事務所実習》</p> <p>場所：県保健福祉事務所 中核市保健所</p> <p>期間：1 日間</p> <p>形態：見学、聴講</p> <p>《福祉関連機関実習》</p> <p>場所：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 乳児院</li> <li>・ 精神保健福祉センター</li> <li>・ 障害者就労支援施設</li> <li>・ 社会福祉協議会</li> <li>・ 難病相談支援センター</li> <li>・ 各市町村地域包括支援センター</li> <li>など</li> </ul> <p>期間：1 日間</p> <p>形態：見学、体験</p> <p>《市町村》</p> <p>場所：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福島県内市町村</li> <li>・ 郡山市行政センター</li> </ul> <p>期間：14 日間</p> <p>【学内】</p> <p>場所：ポラリス保健看護学院</p> <p>期間：2 日間</p> <p>形態：①オリエンテーション ②共有会 テーマ「保健所・福祉機関・市町村実習での学び」</p>	4 年次 後期